

“豊かで快適な環境づくり”をテーマとした、塗料・塗装を用いた建築物・建造物等のカラープランニングオープンコンペが本年も開催されました。

(審査会：2020年11月19日 東京塗料会館にて実施)

受賞作品
発表

最優秀賞

[新築部門]

市立伊勢総合病院

(三重県 内外装 医療施設)

受賞 株式会社 安井建築設計事務所
代表者 中原 岳夫

田園や樹林地が点在する緑豊かなまち並みにふさわしく、強い自己主張や大袈裟な気どりもなく穏やかに佇む作品。モノトーンの外装は、低彩度の色を丁寧に見比べて微妙な調整を行っている様子が伺われ、また穏やかな伝統色を用いた内装も外装とのバランスがよく、柔らかい彩を加えて品の良い色彩計画となっている。



特別賞

[新築部門]

JWマリオット・ホテル奈良

(奈良県 内外装 法人施設)

受賞 大成建設 株式会社 関西支店
代表者 荒木 宏之

奈良の社寺建築に呼応したオフニュートラルカラーによる色彩選定と分節化による丁寧な色彩計画は、大規模施設ながら立地特性への親和性を感じさせる。正面ファサードは周辺環境に配慮しつつ、几帳の設えを取り入れることにより明快な施設の特徴を発信している。



総評

例年では応募作品に類似した傾向が見られるのですが、今年はそれが表立って目につくことがなかったように思います。多くの応募物件には色彩計画に対する真摯な取り組みが見られるようになり、その丹念なプロセスが作品の多様な表情を生む結果となったのではないのでしょうか。

環境色彩計画を進めるにあたって、常に気に留めて置かねばならないことが「地域には地域の色がある」という景観のありようです。受賞した作品はどれもその景観色彩計画の原点に立ち返り地域の色を模索し、設計の中に取り入れる姿勢が見えました。そして全体的に繊細な色彩計画が多かったと感じています。繊細な色を丁寧に使っていくことはなかなかできることではなく、特に彩度の低いところを丹念に比較しながら選定していく設計方針が印象に残りました。それには設計者が見ている方向が関係しているように思えます。その地域の人々の方向を向いているような色彩、そこを利用する人たちのことを考えて色を落とし込んでいく様子が伺えます。景観は「風景」「眺望」など関連した言葉を引き出ししていくと、何となく受動的な特性をはらんでいるように感じます。しかし、設計者が作品を通して自分の想いを表現し、それを鑑賞するのが景観ではなく、地域の人々が対象に能動的に関わりをもち、その地域の空気感や雰囲気と共に作っていく、これが景観だと思っています。今回、こ

のような姿勢が感じられる設計者の作品が賞に選ばれています。

年々応募作品のレベルが上がってきていることを感じていますが、作品のレベルが上がると審査する側の要求水準も上がってきます。ただ、それは特定の理想形に向かって頂点を極めるといった、目標を狭めていく要求ではなく、新たな手法や技法また取り組みの提案によって、塗料や色彩世界に広がりが見えてくる作品をめざすことへの要求です。私たち審査する者の役割は、応募作品からこのような可能性をもった提案を見逃すことなく拾い上げて広く社会に紹介していくことだと思っています。このような提案性を感じさせる作品も今回受賞しています。

また、受賞に至らなかった作品の傾向ですが、空間設計の視点での色彩計画に至っていないケースが見られ、どこか欠落感を伴う印象を受けました。設計対象の立体的形状やレイアウト、使用する素材、また外構の植栽などを考慮した色彩計画が求められます。最近の傾向としてスタイリッシュな表現また和の表現として黒や暗いグレイが多く使われる例が見られます。これらの色は外構の植栽によって表情を持ちますが、植栽の少ないケースでは圧迫感を与えるだけの存在になってしまいます。色どうしの関係は相互作用の産物ですが、景観を構成する様々な構成要素の相互作用を検討することも色彩計画の原点といえるでしょう。

(審査委員長：赤木 重文)

審査員 委員長 赤木 重文 一般財団法人 日本色彩研究所 理事

委員 田嶋 豊 株式会社 ランドスケープデザイン 設計部シニアプロジェクトリーダー
多摩美術大学 芝浦工業大学 非常勤講師

委員 永井 香織 日本大学 生産工学部 建築工学科
准教授 工学博士

委員 桜井 輝子 東京カレッジ 株式会社 代表取締役
東京商工会議所 カラーコーディネーター検定試験 認定講師



改修部門

神奈川県住宅供給公社 湯河原第3共同住宅 (神奈川県 外装 集合住宅)

受賞代表者 サッコデザインオフィス 鈴木 章子

寄木をテーマにした物件で、木肌を思わせるYR系によって生まれる周辺環境との融和感や縦ラインを強調した明暗のコントラストの表情が、安らぎ感と新鮮さを両立させている。階段室における光の反射を計算した塗装の効果も面白い。建物コーナ部や入口周りの工夫や色による壁面分節で端正な施設立面となっている。



改修後



改修前





優秀賞

[改修部門]

イトーヨーカドー和光店

(埼玉県 外装 商業施設)

受賞
代表者

エスケー化研 株式会社
高山 美幸

「地域の暮らしと共にいつも在る店づくり」としての色彩設計コンセプトを大規模商業店舗として実現した完成度の高い色彩計画である。全体を構成する幾つものコーナーが形やレイアウトの特徴にふさわしい色彩で設計されている。



改修後



改修前



特別賞

[改修部門]

京島アカデミックハウス2

(東京都 内外装 集合住宅)



改修後



改修前

受賞
代表者

後藤直也建築設計事務所
後藤 直也

建築学科の学生が深くかかわったまちづくりプロジェクトの一環で、色を通して地域とコミュニケーションを図っていくきっかけづくりとなっている。塗装まで学生たちの手で行われ、塗料を通して環境色彩の重要性や面白さに迫る手掛かりがみえる。



最優秀賞

[戸建改修部門]

F様邸

(愛知県 外装 個人住宅)

受賞
代表者

有限会社 創美
中村 誠司

既存タイルに多彩模様を採用している事例であり、多彩模様の良さが表現されている。改修前の温かく優しい感じを維持したまま、落ち着いた高級感を加えて行きたいとの思いは成功している。拡散していた色が配管などの部材の丁寧な色彩選定によって凝縮した印象である。明快なコントラストが心地よい。



改修前



改修後



優秀賞

[戸建改修部門] **K様邸**

(埼玉県 外装 個人住宅)

改修前



受賞
代表者

株式会社 西浦塗装工業
西浦 建貴

改修前は中明度のオフグレイ単色の外装で、総三階建の建物は堅固なイメージであった。軽やかな印象に変えたいという施主の想いを目標に進められた改修は「硬いクッキーから柔らかいケーキ」のようになったという感想通りの成果をあげている。



改修後



最優秀賞

[内装部門]

ラングラー
鹿児島モデルハウス「LANGLEY」 (鹿児島県 内装 法人施設)

受賞
代表者

三井ホーム鹿児島 株式会社
児島 伸幸



地域の色としてまとめた「かごんまの色(鹿児島の色)」を活用したユニークな取り組み。モデルハウスという物件の用途が合致して活動自体に魅力を感じる。配色からも心地よさが伝わる。色を地域の価値として位置づけ、地域イメージの向上を図るツール・媒体として実際に空間設計の中に取り入れていく提案として、様々な地域で今後の展開が期待できる手法である。



優秀賞

[内装部門]

大日本塗料 株式会社 防食技術センター (栃木県 内外装 法人施設)

受賞
代表者

積水ハウス 株式会社
塩島 正之

各エリアの方角や相互的な位置関係とカラーシステムを結び付けた色彩基本計画は、建物の構造をカラーシステムにより表現した新しい試みである。結果は極めて感性的な調和感を伴っている。選定した色を微妙に調整した結果だと思われる。新しい提案と調和感が評価された。



後 援

経済産業省 国土交通省

報道関係協賛

(株)日刊工業新聞社 フジサンケイ ビジネスアイ
(株)化学工業日報社 (株)日刊建設工業新聞社 (株)日刊建設通信新聞社
(株)日刊建設産業新聞社

協賛団体

東京商工会議所 (一社)全国建設業協会 (一社)日本建材・住宅設備産業協会
(公社)日本建築士会連合会 (一社)日本建築学会 日本建築仕上学会
(一社)日本色彩学会 (一財)日本色彩研究所 (一社)色材協会

主催団体

一般社団法人日本塗料工業会
▶ <https://www.toryo.or.jp/>
日本塗料商業組合
▶ <http://www.nittosho.or.jp/>
一般社団法人日本塗装工業会
▶ <http://www.nittoso.or.jp/>

(順不同)

(一社):一般社団法人、(公社):公益社団法人、(一財):一般財団法人

第1回~第22回の受賞作品(最優秀賞、優秀賞、特別賞)は日本塗料工業会のホームページにてご覧下さい。▶ <https://www.toryo.or.jp/jp/event/GPC/index.html>